

西オーストラリア州のサーフライフセービング

現在、西オーストラリア(WA)州には27のサーフライフセービングクラブがあり、約12,000人のライフセーバーがビーチの安全を守っています。その中心となっているWA州サーフライフセービング協会(Surf Life Saving WA: SLSWA)のお2人にインタビューしました。

SLSWA が最も力をいれている活動は何ですか？

——一般の方々への教育活動ですね。特に、現在 SLSWA は州にある全てのカトリックスクールのイヤー7 (中学1年生に相当)の生徒に、心肺蘇生法や応急手当ての方法を教えています。最終的には、5,000人以上の子ども達が講習を受けることになるでしょう。

SLSWA が行っている、WA 州ならではの活動はありますか？

——海外からの観光客が多いWA州では、英語を話せない人にも安全に関するアドバイスができるように、英語以外の言語でのパンフレットの製作などを行っています。

オーストラリアでサーフライフセービングがこれだけ広まったのは、なぜだと思いますか？

——現在、サーフライフセービングは、過去の精力的な活動のおかげで社会全体から信頼とサポートを受け、オーストラリアを象徴するものの1つに数えられています。そして、100年もの間に取り組んできた活動で、オーストラリア人が特に価値を感じる部分である、チームワークと仲間との交友関係を強めることができたからだと思います。

12年間に渡りクィーンズランド州で行われてきた全豪選手権大会が、今年スカボロビーチに移ったのはなぜですか？

——今回、クィーンズランド州以外での開催地を探した時に、宿泊施設の豊かさや交通の便利さなどの厳しい審査をクリアできたのは全豪でスカボロビーチだけだったからです。スカボロでは今後3年間、同大会を開催します。今回、100周年という記念すべき年にWA州で開催できることを嬉しく思います。



Surf Life Saving WA
WA州サーフライフセービング協会
Chief Executive Officer
最高経営責任者
Paul Andrewさん

SLSWA の今後の目標を教えてください。

——今以上にライフセーバーの人数を増やして、成長していきたいですね。また、ライフセーバーがいないビーチでは、その現地の人たちにサーフライフセービングについての教育活動を積極的に行いたいと思います。そして、WA州の海岸での事故がゼロになることを目指していきたいです。

読者にメッセージをお願いします。

——私たちは、国籍に関係なく、活動に協力してくれる方は大歓迎します。たとえ泳ぐことができなくても、教育活動やパトロール、社会福祉活動など、できることがたくさんあるところがサーフライフセービングの素晴らしさだと思っています。是非、私たちの活動に参加してみてください。最後に、“If we can't see you, we can't save you”。これが、私たちライフセーバーから皆さんへのお願いです。ビーチでの事故数を減らすために、必ず、ライフセーバーの注意がとどくフラッグの間で泳ぐようにして下さい。



Surf Life Saving WA
WA州サーフライフセービング協会
Board Of Director
取締役会役員
Jean Burlingさん

サーフライフセービング歴は何年ですか？

——私が12歳の時、1957年からなので、今年でちょうど50年ですね。

今年のオーストラリアデーに、OAM (Medal of the Order of Australia : 特定の分野への献身的な活動をした人に送られるメダル)を受賞されたそうですね。

——とても光栄に思っています。私の、長年にわたる競技に向ける姿勢や、地域に根ざした教育活動、インドネシア・バリ島での23年間にわたるサーフライフセービングに関する教育活動が認められたということだと思うので、とても嬉しいです。

サーフライフセービングの魅力とは何だと思いますか？

——子どもからお年寄りまで誰でも参加できて、海のことだけでなく、何かあった時の応急処置の仕方まで学べることです。また、肉体的、精神的にも成長できるので、強い自我を持つことができることも魅力だと思います。